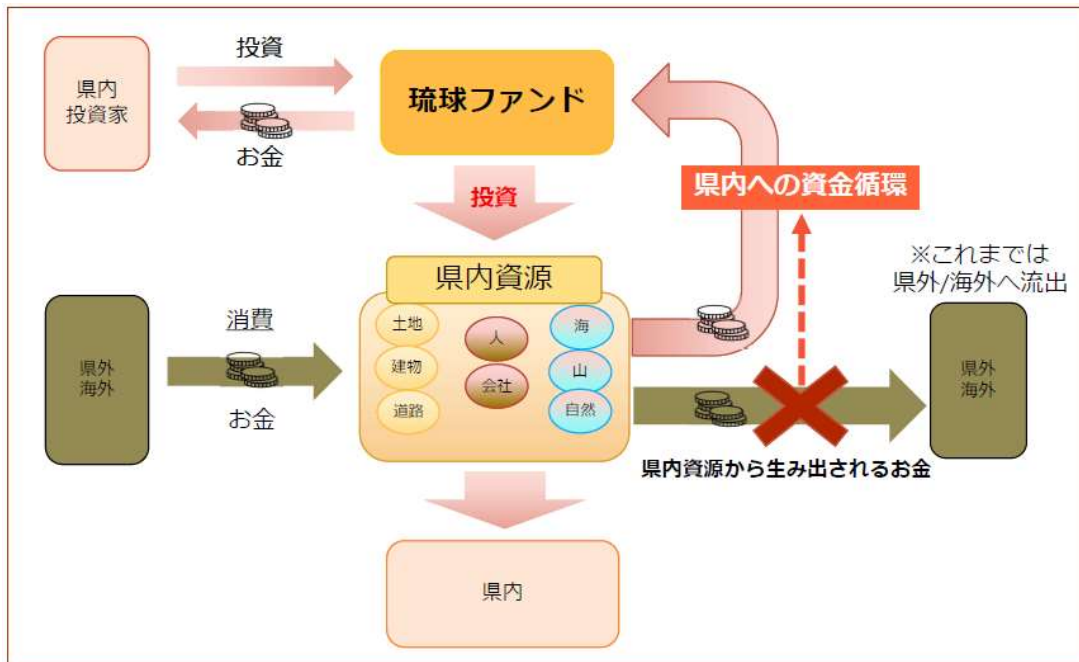


琉球ファンドによる地域活性化の取組

- 2020年5月、新型コロナウイルスの影響を受けた県経済の課題解決を図る目的で、琉球銀行が主体となって県内企業17社で「琉球キャピタル」を設立した。
- 「琉球ファンド1号（2020年8月）」では県内31社から64億円の出資を募り、コロナ禍で打撃をうけた県経済を支えるため「県内資産を守ること」、「利益を県内に還元すること」を目的に投資を実施。
- 「琉球ファンド2号（2025年1月）」では県内38社から57億円の出資を募り、「ザル経済を解消して県経済を太くする取組みに貢献すること」をコンセプトに投資を継続している。



2025年1月に組成した琉球ファンド2号の取組み

RF2号のコンセプト

ザル経済を解消して
県経済を太くする
取組みに貢献すること

県内ビジネスから生ずるキャッシュを
県内へ還流する取組み

県内資源に対し、運営者にこだわらず
RF2号を通じて県内も携われる取組み

RF2号の目標

県経済に貢献するという投資意義

経済的合理性に基づく収益性の確保

両立